

♡親子読書『熊本の心』の感想より (R3 3学期実施)

【1年】「一日田うえ」

《児童》 ちょうじゃが田うえを一日にするのがじまんて、もう日がおちてきてむりやりみんなの山にあぶらをして火をつけて山を明るくして、けっきょくじぶんのやしきもえて、じぶんがしたことが、じぶんかってだったので、だめだとおもいました。

《お家の方》 自分でしたことは、結局自分に返ってくるということを、日頃から子どもに話しているの、それを感じ取ってくれたらいいなと思います。

【1年】「まつりにこめられたねがい」

《児童》 ぼくは、まつりにはねがいがこめられていると、はじめてしりました。

《お家の方》 八代妙見祭は以前から興味がありました。「ガメ」の印象が強かったのですが、この話を読んで、笠鉾を見てみたいと思いました。

【2年】「一日田植え」

《児童》 金のおうぎで太陽をはねかえしたところがすごいとおもいました。

《お家の方》 「熊本の心」を読み出すととまらない娘です。熊本県内の市町村の紹介もあり、地元熊本を知ることができて、とてもよいと思います。一年を通し、よい機会をありがとうございました。

【2年】「火たきのしごと」

《児童》 ずっと火をもやしつづけてすごいなあとおもいました。

《お家の方》 地域の伝統を守ること、責任を持って任された仕事を全うすること、学ぶことがたくさんありましたね。

【3年】「電灯記念ひ」

《児童》 昔の記念ひや昔のたっせいできたことを話すと、心もあつたまるし、電気もあつたまるんだなと思いました。

《お家の方》 便利な時代になり、何もかもあるのが当たり前で、物や人への感謝の気持ちが減ったように思う中、この話は電気の大切さがよく分かる話で、子どもにもその大切さが伝わると嬉しいです。

【3年】「布田保之助」

《児童》 布田保之助は、村人たちのために通潤橋を作ったから、優しいなと思いました。ぼくも、人にやさしくしたいと思いました。

《お家の方》 社会の教科書にのっているぐらい有名な橋ですが、すばらしい技術と人の想いで出来上がった橋なんだなとあらためて思いました。困っている人たちのために、という心がステキですね。

【4年】「はとと馬」

《児童》 鳩野宗巴さんは、区別せず、相手の方を思ってどちらも熱心に手当して、動物のことも思っていて、すごく心優しい人だなと思いました。

《お家の方》 鳩を助ける前に違う鳥や動物を助けていたらどんな名字になっていたのか？ 子どもと楽しく考える時間を過ごせました。鳩や馬の他にも、きっと沢山の動物たちを助けていたんでしょうね。私の同級生にも鳩野というお医者さんがいます。(何か関係しているのかもですね。)

【4年】「大根の芽」

《児童》「がんばれば楽しくなる」という言葉が心にぐっときて、いいお話だなと思いました。
《お家の方》人は、がまんやしんぼうの先に楽しみがあるから頑張れる。ほめてもらえば、喜びを感じもっと前進する。言葉は励みになり、一生忘れられない想いにつながる。

【5年】「あきらめることは無意味だ」

《児童》あり田功さんは、あきらめないという気持ちをもってごいと思います。私はしょうぶとかでも負けたらもう勝てないと思ってしまうけど、あり田功さんは、あきらめないという気持ちがあつてすごいです。わたしも、あり田功さんみたいに、あきらめない気持ちを持ちたいです。

《お家の方》感染症をおさえるために、がんばって働く人達には頭が上がりませんね。今もコロナが流行っていて同じ状況の中だと思います。私達にも「できること」を大切に守って少しでも早く収束することを願うばかりです。

【5年】「ご先祖さまがつくった土地」

《児童》ぼくもご先祖さまが作ったものがあれば、残していこうと思います。
《お家の方》ご先祖様にも感謝が大切です。お墓参りに行きましょう。

【6年】「地名を守る」

《児童》私は、地名にも意味があり、その土地の歴史にもつながるということを初めて知りました。そして、一つ一つの地名を大切に、由来や歴史を知って、守っていかなければいけないと思いました。

《お家の方》私達が、日々何気なく使ったり言ったりしている地名にも、古くからの歴史があると思うと、とても興味がわいてきました。新しいことも日常生活においては大切なこともあります。昔の人の言うことにも大切なことが沢山あります。しっかり伝えていかないといけないなあと感じました。

【6年】「宝暦萩原堤」

《児童》村の大水害で堤防がくずれて、修復工事を自ら積極的に行う弥右衛さんがすごいなと思いました。

《お家の方》球磨川が「あばれ川」と言われていることは考えさせられます。自然は雄大で、時には恐ろしいものなので、人間の暮らしを優先して生活することに疑問を持ち、自然に生かされていることを学んでいってほしいです。

【たんぼぼ・ひまわり学級】「火たきのしごと」

《児童》59日もするなんておもいもしなかった。

【たんぼぼ・ひまわり学級】「火たきのしごと」

《児童》夜になつてもしごとがつづくみたいへんだと思いました。